省エネ法　定期報告情報の開示制度　開示シート【２０２４年度提出分（２０２３年度実績）】　確報版　資源エネルギー庁作成

株式会社千葉ニュータウンセンター

銘柄コード	-
法人番号	3040001043693

＊は選択開示項目

日本標準産業分類	コード	項目名
中分類	69	不動産賃貸業・管理業
細分類（主たる事業）	6919	その他の不動産賃貸業
エネルギー管理統括者	【役職】　総務部長 【氏名】　小平　泰造	

エネルギー総使用量	140,645 (87,875)	GJ	3,629 (2,267) kℓ
前年度エネルギー総使用量			2,239 kℓ
非化石エネルギー総使用量＊	77,314	GJ	1,995 kℓ
調整後温室効果ガス排出量	553	t-CO_2	

【エネルギーの使用の合理化】

主たる事業におけるエネルギー消費原単位※注（2023年度実績）	0.001846 (0.00213)		原単位分母【延床面積(m2)】			
	主たる事業の構成割合		5.6 (10.3)			%
事業者全体のエネルギー消費原単位対前年度比	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
		91.1	95.2	103.4	105.4	
事業者全体の５年度間平均原単位変化（%）	98.6					

※ 主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業分類の考え方に基づき各事業者が決定したもの。

【電気の需要の最適化】

主たる事業における電気需要最適化評価原単位（2023年度実績）＊	0.002009 (0.002542)		原単位分母【延床面積(m2)】			
DR実施日数＊	0					
事業者全体の電気需要最適化評価原単位対前年度比＊	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
		91.7	94.9	103.2	106.4	
事業者全体の５年度間平均原単位変化＊	98.9					

【ベンチマーク指標の状況（合理化）】

ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	-
ベンチマーク指標の状況	-	
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	-
ベンチマーク指標の状況	-	
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	-
ベンチマーク指標の状況	-	
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	-
ベンチマーク指標の状況	-	

【調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた認証排出削減量等の量】

種別＊	合計量＊
-	- t-CO_2
-	- t-CO_2
-	- t-CO_2
-	- t-CO_2

【非化石エネルギーへの転換】

電気の非化石比率	事業者全体で使用する電気				
目標（2030年度）	30.4%				
直近５年度間の実績値	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
					30.4%
目安設定業種	-	-			
目安（2030年度）	-				
	-				
目標（2030年度）	-				
直近５年度間の実績値	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
					-
目安設定業種	-	-			
目安（2030年度）	-				
	-				
目標（2030年度）	-				
直近５年度間の実績値	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
					-

【取組の概要：業界の事情等を考慮した取組について（定性的事項）】

（自由記述欄）

１．エネルギーの使用の合理化に関する事項

２．非化石エネルギーへの転換に関する事項

必読：本開示シートを閲覧するにあたっては「省エネ法定期報告情報の開示制度手引き」を参照お願いします

【参考情報】

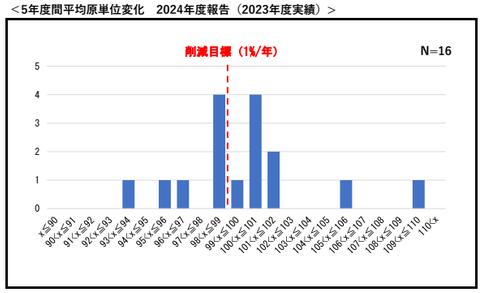
＜業界の特色＞

不動産賃貸業・管理業は、主として不動産の賃貸又は管理を行います。
不動産賃貸業・管理業は2022年度において国内の第3次産業の3.4％のCO2を排出しています。
不動産協会及び日本ビルヂング協会連合会では、気候変動対策に取組むための手段や、2050年に向けて目指すべき方向性を整理した「不動産業における脱炭素社会実現に向けた長期ビジョン」を2021年4月に策定しました。
不動産賃貸業・管理業では、脱炭素社会の実現に向けて、省エネ設計による一次エネルギー消費量削減（ZEH・ZEB化、 高気密・高断熱化）、再エネ設備導入（太陽光発電設備の導入、蓄電池の導入）、 省エネ運用（HEMS・BEMSの活用）、メンテナンスの脱炭素化（足場不要の長期修繕）などに取り組んでいます。

＜定期報告書データに基づく業界毎の集計値＞　注：エネルギー使用量のシェアが全体の0.03%以上で、事業者数が 10 件以上の業種細分類について集計

6919　その他の不動産賃貸業		2024年度報告（2023年度実績）		
		平均値	中央値	最大値
エネルギー総使用量	kl	6,663	4,482	20,288
非化石エネルギー総使用量	kl	1,866	1,143	7,896
調整後温室効果ガス排出量	t-CO_2	11,220	8,234	31,358
DR実施日数	回	56.8	0.0	365

＜5年度間平均原単位変化　2024年度報告（2023年度実績）＞



【取組の概要：カーボンニュートラルに向けて】

（自由記述欄）

１．自由記述欄　（カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について）

２．関連リンク

	：
	：
	：